公の施設の「適正配置」計画確定前に民間譲渡先行吉川区の「福寿荘」、市は市社協への譲渡を諮問

吉川区地域協議会が1月21日開催され、同区内の福祉施設、福寿荘の市社会福祉協議会への譲渡に関する諮問について審査されました。諮問は、本年4月、市社会福祉協議会へ無償譲渡するというものです。

審査の前に地域協議会のメンバーが事前に福寿荘の実態調査を行い、炭焼き小屋、陶磁器教室の機器などの状況、生きがい教室の活用状況、市社会福祉協議会が取得した後の建物の活用方針などを確認した結果が報告されました。このなかで、市社会福祉協議会では、就労支援事業の活動の場として活用する計画を持っていることが明らかにされました。

審査のなかでは、「何で来年度に前倒しで譲渡するのか」「高齢者の活動はどうなるか」などの質問が出ました。審査の



28日、2000号に到達



おかげ様で、「はしづめ法一の活動レポート」は今月の最後の日曜日、28日の発行で第2000号となります。

第2000号では、長年、お読みいただいた市民の皆さんからのメッセージ、コメントも掲載する予定です。どんなことでもけっこうです。ただ、紙面の都合上、短いものをお寄せいただけるとありがたいです。よろしくお願いします。左は第1500号です。

結果、付帯意見として、「新たな高齢者の趣味の教室開催等の要望が出たときは配慮してほしい」というのが出され、答申は、「地域住民の生活に支障なし」という内容になりました。

既報のように、第4次上越市公の施設適正配置計画案が12月4日の市議会総務常任委員会に示され、そこの資料で福寿荘は「令和4年度に貸付または譲渡」となっていました。それが1か月も経たないうちに「譲渡で合意し、しかも1年前倒しされる」と地元地域協議会に報告され、1月には諮問ですから、

計画案策定とのずれなど、ことの経過について市はしっかりと議会に報告する 義務があります。3月議会での市の対応を注視していきます。

(写真は1月21日の吉川区地域協議会)

FM上越、「上越市議に訊く」に出演します



恵きくごさい。 ターネットでも聴くことができます。ぜひおりーネットでも聴いしました。この番與はインという曲をお願いしました。この番與はイン中村明臣さんが作詞、作曲した あまだれ」中村明臣はんが作詞、作曲した あまだれ」(ことの重要性等です。

暖会の論戦と 一政の課題と を一関立の病院戦と地域の運動を活動で語り 来 週9日 、市政へ日は私へ いろな質 達する私 院として」存 動で守ったこと、 録 いう番目の生 曾 に活動 題や今月 を受け 頸 閗 北 しポ が 放 まし 斎場 一末に 時 18 送さ

【イヌタデ】再掲。タデ 科の一年草。漢字で「大 蓼」と書きます。赤い小 と書きます。赤いかさな花や実をつけるこ呼。 うらではまます。がはままないます。 道や畑にたくさん生える。 では全体が赤く見えまでは全体が赤く見えまででは全体が赤く見えます。 では全体が赤く見えまではないます。 ではなたのお役に立ちにいる。 写真は昨年の12 月6日、古川区小苗代にて撮影しました。

No.1996 2021.2.7





ブログ 「ホーセの見 てある記」は ← こちら

橋爪法-

春よ来い第

こなんですね。 なるほど、「もてなす」ってこういうこ

間にしていたのです。

一月下旬の火曜日のことです。わが家の一月下旬の火曜日のことです。わが家の十月下旬の火曜日のことです。わが家の一月下旬の火曜日のことです。わが家の一月下旬の火曜日のことです。わが家の

言いました。 言いました。 言いました。 目ので」と誘うと、Yさんは、「まあ、こでそれなら、わが家の庭の空いたところ、「それなら、わが家の庭の空いたところ、て……」という答えが返ってきました。わ。お寺さんが車で来れるようにと思っわ、「明後日はおふくろの月命日なんだ「がんばっているね」と声をかけたとこ

せんでした。まで丁寧な対応をする人がいるとは思いま直言って、お寺さんを迎えるために、ここただくこと自体に意味があったのです。正お寺さんが家のそばまで車に乗って来ていくさんにとっては、雪でたいへんな時に

「シュトがはないではないです。 スタースでした。 ことでした。 た「アイスクリームが好きなお寺さん」のを聞いて思い出したのは、昨年の秋に聞いと Yさんの「お寺さんが……」という言葉

「そう、アイス作って、ストーブもつするソームを作るの?」「じゃ、お寺さんが来なる時はアイスク

「薪ストーブだよね」。んだわ」。んだわ」、ストーブもつける「そう、アイス作って、ストーブもつける

リームを作るだけでも、現代的で素敵な、お寺さんのために手づくりのアイスクは顔と顔を合わせ、笑ってしまいました。ここまで話をしたところで、私とYさんけてでもストーブたくんさね」らっしゃるから……。暖かければ、窓を開らっしゃるから……。暖かければ、窓を開いそう、お寺さん、薪ストーブが好きでい

今冬では最高に冷え込み、凍み渡りもでき

ました。そして日中は、ばかいい天気でし

この日は身も心もあたたまりました。

は驚きでした。
いっていまで徹底しているというであったとしても、「窓を開けてスまで、仮にストーブがいらないほどの暖かいちを味わってもらおうというのです。それさを味わってもらおうというのです。それで、新ストーブならではの本来の火の暖かで、新ストーブならではの本来の火の暖かが、おもてなし、だと思います。それに加え

考えてみれば、昔、わが家でも同じようンで削って食べている。いいですねぇ。のそばで、アイスクリームを頑丈なスプーに浮かびました。真っ赤に燃えるストーブー私は、Yさんとそのお寺さんの様子が目

当たり前の。おもてなし、だったのです。当たり前の。おもてなし、だったのです。が、母があんじょさん(庵主様)がわが家にはあんじょさんがミカンを持っているのですさったことが強く記憶に残っているのですさったことが強く記憶に残っているのですから煮物づくりなどにはまり込んでいたこから煮物づくりなどにはまり込んでいたこから煮物づくりなどにはまり込んでいました。私尾神のあんじょさんがミカンを持ってきてくださいました。私があんじょさんがミカンを持っていただきました。私がの方にはまり、母があんじょさん(庵主様)がわが家にも同じようがあんじょさんと思います。

自由に、のびのびと描かれた作品いくつも



上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は 1 時間当たり $0.016\sim0.16\,\mu\,\text{Sv}(マイクロシーベルト)$ だとのことです。

のことです。				
	1月27日(水)		2月3日(水)	
上越南消防署	0.	053	0.	0 4 7
上越北消防署	0.	0 4 0	0.	0 4 0
新井消防署	0.	057	0.	057
頸北消防署	0.	053	0.	050
頸南消防署	0.	067	0.	073
東頸消防署	0.	057	0.	053
名立分遣所	0.	057	0.	053
高士分遣所	0.	063	0.	060

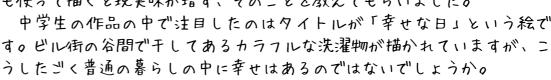
第51回新潟県ジュニア美術展覧会がこのほど市民プラザで開催されました。会場には作品関係者の親子連れなど大勢の人たちが来ておられました。

ちが米でおられました。 ジュニア作品は日常生活をみ つめ、自分の想いをのせて自由 に、のひのひと描いた作品が多 く、とても参考になります。

く、とても参考になります。 例えば、タイトルが「ない」 かれっちゃっちゃっちゃっちゃっちゃっちゃっちゅう かいこう なかで こんない こんない こんない こんない まます。 サイン はいる から楽しさが伝わって はいるから楽しさが にきます。

さますの およすの 柿崎の下黒川小学校の児童が描いた笠地蔵とおいいさんの絵 も感心しましたの吹雪の色って 白や灰色だけではダメ、青や黒

も使って描くと現実味が増す、そのことを教えてもらいました。



紹介したい作品はたくさんありますが、紙面が小さくて申し訳ないです。



「もてなす」ってこういうこ

こなんですね。 なるほど、

間にしていたのです。 つくるのかと思うほどきれいな四角形 囚げていました。 それも雪の芸術作品でも 家の北側の山のようになった雪を掘ってい にと思ったら、午後には家の木戸先の道を コップを持って雪どかしをしていました。 近くのYさんはこの日、 月下旬の火曜日のことです。 午前からずっとス わが家の が空

て……」という答えが返ってきました。わ。お寺さんが車で来れるようにと思っ れだけ広げれば、 使って」と誘うと、Yさんは、「まあ、こ つ、「明後日はおふくろの月命日なんだ「がんばっているね」と声をかけたとこ わが家の庭の空いたところ、 車を置けるだろうし」と

ただくこと自体に意味があったのです。正お寺さんが家のそばまで車に乗って来てい 直言って、 せんでした。 まで丁寧な対応をする人がいるとは思いま Yさんにとっては、 お寺さんを迎えるために、ここ 雪でたい へんな時に

た「アイスクリームが好きなお寺さん」のを聞いて思い出したのは、昨年の秋に聞いくさんの「お寺さんが……」という言葉

「そう、アイス作って、ストーブもつける ームを作るの?」

「じゃ、お寺さんが来なる時はアイスク

らっしゃるから……。 は顔と顔を合わせ、笑ってしまいました。 けてでもストーブたくんさね」 「薪ストーブだよね」 ここまで話をしたところで、私とYさん お寺さん、薪ストーブが好きでい 暖かければ、 窓を開

今冬では最高に冷え込み、凍み渡りもでき

ばかいい天気でし

寺さんのために手づくりのアイスク

を作るだけでも、

現代的で素敵な

この日は身も心もあたたまりました。

は驚きでした。 部屋であったとしても、 さを味わってもらおうというのです。 トーブをたく」。 おもてなし 薪ストーブならではの本来の 仮にストーブがいらないほどの暖かい 〟だと思います。それに加 ここまで徹底していると 「窓を開けてス 少の暖か

ンで削って食べている。いいですねぇ。 のそばで、アイスクリームを頑丈なスプー に浮かびました。真っ赤に燃えるストーブ 私は、Yさんとそのお寺さんの様子が目

が、 はあんじょさんがミカンを持ってきてくだ 来られ、お経をあげてくださいました。私 尾神のあんじょさん(庵主様)がわが家に それも雪のある今時分だったと思います、 当たり前の"おもてなし'だったのです。 持ち帰っていただきました。当時はそれが から煮物づくりなどにはまり込んでいたこ なことをやっていました。私が小さな頃、 んどはワラで作った「つっとこ」に入れて とも忘れられません。そして、料理のほと さったことが強く記憶に残っているのです 考えてみれば、昔、わが家でも同じよう 母があんじょさんを迎えるために前日

不自由なく、Yさん宅に来られるようにす 良くお経を読んでもらいたい、その第一歩 を食べていただく、これこそYさんらし 昔からの暖かい火のそばでアイスクリーム ることでした。そしてお経が終わったら、 が車でやって来られるであろうお寺さんが なった日を大切にし、お寺さんから気持ち しの心』の大切さです。お母さんが亡く をこめてお客さんの世話をする。おもてな おもてなし、だと思いました。 Yさんと話をしていてわかったのは、 この日は朝焼けがとてもきれいでした。

> のびのびと描かれた作品し 曲に、



上越地域各消防署における 空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイク ベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり 0. 016~0. 16 μ Sv (マイクロシーベルト) だと

のことです。				
	1月27日(水)		2月3日(水)	
上越南消防署	0.	053	0.	0 4 7
上越北消防署	0.	0 4 0	0.	0 4 0
新井消防署	0.	057	0.	057
頸北消防署	0.	053	0.	050
頸南消防署	0.	067	0.	073
東頸消防署	0.	057	0.	053
名立分遣所	0.	057	0.	053
高士分遣所	0.	063	0.	060

第51回新潟県ジュニア美術展 賢会がこのほど市民プラザで開 されました。会場には作品関 係者の親子連れなど大勢の人た ちが来ておられましたの

ジュニア作品は日常生活をみ つめ、自分の想いをのせて自由 に、のびのひと描いた作品が多 く、とても参考になりますの

例えば、タイトルが「シャ ワー」という絵のあっちっ た陽が照りつけるなかで、シャ を頭から浴びるってこんな にも楽しいのかと思いました。 手を下げているのではなく、上 げているから楽しさが伝わって きます。

大島小学校の児童が描いたサ ンタさんとプレゼント配りの絵 も感心しましたの外の雪景色が ても暖かい色となっていま

す。トナカイがひくソリに乗っている人もとても楽しそうで、暖かい空間 にいます。描いた人はきっと素敵なプレゼントをもらったのでしょう。

美術展で展示されていた作品は約500点、どれも紹介したくなる作品ばか りでしたo 紙面が小さく、いくつも紹介できなく、申し訳ないですo





こなんですね。 なるほど、 「もてなす」ってこういうこ

間にしていたのです。 つくるのかと思うほどきれいな四角形の空 囚げていました。 それも雪の芸術作品でも 家の北側の山のようになった雪を掘ってい にと思ったら、午後には家の木戸先の道を コップを持って雪どかしをしていました。 近くのYさんはこの日、 月下旬の火曜日のことです。 午前からずっとス わが家の

言いました。 れだけ広げれば、 使って」と誘うと、Yさんは、「まあ、こ て……」という答えが返ってきました。わ。お寺さんが車で来れるようにと思っ つ、「明後日はおふくろの月命日なんだ「がんばっているね」と声をかけたとこ わが家の庭の空いたところ、 車を置けるだろうし」と

ただくこと自体に意味があったのです。正お寺さんが家のそばまで車に乗って来てい 直言って、 せんでした。 まで丁寧な対応をする人がいるとは思いま Yさんにとっては、 お寺さんを迎えるために、ここ 雪でたい へんな時に

た「アイスクリームが好きなお寺さん」の を聞いて思い出したのは、 聞いて思い出したのは、昨年の秋に聞いYさんの「お寺さんが……」という言葉

「じゃ、お寺さんが来なる時はアイスク 「そう、アイス作って、ストーブもつける ームを作るの?」

らっしゃるから……。 けてでもストーブたくんさね」 薪ストーブだよね ここまで話をしたところで、私とYさん お寺さん、薪ストーブが好きでい 暖かければ、 窓を開

は顔と顔を合わせ、笑ってしまいました。

今冬では最高に冷え込み、凍み渡りもでき

ばかいい天気でし

きさんのために手づくりのアイスク

ムを作るだけでも、

現代的で素敵な

この日は身も心もあたたまりました。

ŧ は驚きでした。 部屋であったとしても、 さを味わってもらおうというのです。それ トーブをたく」。 おもてなし 薪ストーブならではの本来の 仮にストーブがいらないほどの暖かい 〟だと思います。それに加 ここまで徹底していると 「窓を開けてス 火の暖か

ンで削って食べている。いいですねぇ。 のそばで、アイスクリームを頑丈なスプー に浮かびました。真っ赤に燃えるストーブ 私は、Yさんとそのお寺さんの様子が目

はあんじょさんがミカンを持ってきてくだ 来られ、お経をあげてくださいました。私 尾神のあんじょさん(庵主様)がわが家に それも雪のある今時分だったと思います、 当たり前の"おもてなし'だったのです。 持ち帰っていただきました。当時はそれが から煮物づくりなどにはまり込んでいたこ なことをやっていました。私が小さな頃、 んどはワラで作った「つっとこ」に入れて とも忘れられません。そして、料理のほと が、母があんじょさんを迎えるために前日 さったことが強く記憶に残っているのです 考えてみれば、昔、わが家でも同じよう

不自由なく、Yさん宅に来られるようにす 良くお経を読んでもらいたい、その第一歩 しの心』の大切さです。お母さんが亡く を食べていただく、これこそYさんらし 昔からの暖かい火のそばでアイスクリーム ることでした。そしてお経が終わったら、 が車でやって来られるであろうお寺さんが なった日を大切にし、お寺さんから気持ち をこめてお客さんの世話をする。おもてな おもてなし、だと思いました。 Yさんと話をしていてわかったのは、 この日は朝焼けがとてもきれいでした。

のびのび 由に、



上越地域各消防署における 空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイク ベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり 0. 016~0. 16 μ Sv (マイクロシーベルト) だと

のことです。							
	1月27日(水)		2月3日(水)				
上越南消防署	0.	053	0.	0 4 7			
上越北消防署	0.	0 4 0	0.	0 4 0			
新井消防署	0.	057	0.	057			
頸北消防署	0.	053	0.	050			
頸南消防署	0.	067	0.	073			
東頸消防署	0.	057	0.	053			
名立分遣所	0.	057	0.	053			
高士分遣所	0.	063	0.	060			

第51回新潟県ジュニア美術展!! 賢会がこのほど市民プラザで開 されました。会場には作品関 係者の親子連れなど大勢の人た ちが来ておられましたの

ジュニア作品は日常生活をみ 自分の想いをのせて自由 に、のびのひと描いた作品が多 く、とても参考になりますの

例えば、タイトルが「シ という絵のあっちっ た陽が照りつけるなかで、 を頭から浴びるってこん にも楽しいのかと思いました。 手を下げているのではなく、 げているから楽しさが伝わ きますの

大潟町小学校の児童が描いた 朝日池総合農場のニワトリ小屋 の絵も感心しました。たぶん、 初めて見たのでしょう、ニワト



リそのものよりも印や小屋自体に目が向いている。なかなかいいですね。 中学生の作品の中で注目したのはタイトルが「幸せな日」という絵で す。ピル街の谷間で干してあるカラフルな洗濯物が描かれていますが、こ うしたコリく普通の暮らしの中に幸せはあるのではないでしょうか。 紹介したい作品はたくさんありますが、紙面が小さくて申し訳ないです。